



潮流

題字：末兼南子さん イラスト：大津美子さん

2022年7月号
No.286

大津島データ 146世帯
人口 198人 男 82人 女 116人
高齢化率 79.8%
(令和4年5月31日現在)



5月28日大津島(本浦)で
芋づるの植え付けを若潮の
メンバーで行いました。
幸いにも好天に恵まれて、
午前中は非常に過ごしやす
い気候で活動する事が出来
ました。畑を見た時、畝の並
びがこんなにも綺麗なのだ
と感動しました。



芋づるの植え付け



この畝を作るのは、大変な労力と時間がかかっているのだと感
心し改めて畝を作って下さった方々に感謝を申し上げます。あり
がとうございました。

今回マルチシ
ートを張って芋
づるの植え付け
をしたので、少
し苦戦しましたが、
皆さんと協力し
てなんとか植え
付けを行う事が
出来ました。10月
の収穫が楽しみ
です。

文川尾下 信子



アジサイ満開

石田幸敏・久子さんご夫妻の敷地にて
写真撮影させていただきました。

6月13日撮影

(刈尾地区)

ひろしの つぶやき



文川屋野 廣志

4月の中旬頃からずっと先の始め頃、私の呼吸機能に異変が起きた。老化ではあらうが原因不明。息を吐く度に、古い黒電話の呼出音に似たグルグル々々々が音する。近くでは無い。私だけに聞える音だ。起きようと体を動かすと、呼出音は止まる。その様な事態が何度もあった。その胸の発する音に人が気付くには1週間も過ぎての事。愚息に医師の診断を進められ、診療所に行くと、即入院の診断となり病名は慢性閉塞性肺疾患との事。「個室」入院の個室に一層の不安が。のどに痰がつまるとコンコンと咳込みが大きく隣人に迷惑と悟り。医師は不在、看護婦さんの指示のみ。

粉末の様な煙を機械より連なるホースのマスクを口鼻にあて1回10分間、1日に4回のみ、三食完食快適な入院。苦痛は足のシビレのみ、孤独生活に馴れた私には、快適以外にない。飲まず食わずでも人間は数日間生き延びるが呼吸が止まれば数分で死に至る。食糧より大事な此の宇宙の酸素を1分間に20回、1日に24時間3万回、1年間にすれば1000万回。私の様に90年間も生き永らへば、9億4600万回、生命保持の貴重な酸素を無料で頂いて来た事に感謝せねばと、地球温暖化防止対策に牛の吐く息に二酸化炭素の含有が問題化される現在に大きなため息を吐きつぶやく…。

(原文のまま)



K R Y 山口放送が「しまさぽ」取材しました



6月1日(水)、K R Y 山口放送が島のサポーター「しまさぽ」を取材し、6月8日(水)早朝のローカル番組「さわやかモーニング」、同日夕方は「ニュースライブ」で放送されました。

当日の撮影は、刈尾地区での島民のインタビューから始まり、午前中は馬島地区の個人依頼の草刈準備から作業や片づけまでの様子取材。



お昼休みの食事風景も撮影したあと、午後からは休校となっている大津島小学校グラウンドの整備や「しまさぽ」メンバーのインタビュー。その後は本浦地区に移動してコミュニティ会長への取材、実際に作業を依頼した方へのインタビュー、最後は馬島在住のメンバーの方が自宅に帰るまでの本格的密着取材でした。放送時間が10分程度でしたので、インタビューされた方の中には放送に映らなかった方もおられると思いますが、

今回の放送で「しまさぽ」の活動をより多くの人に知っていただくと嬉しいですね。

報告者 大津島コミ事務局 沖 武士



これからよろしくお願いします



この度より、大津島ふれあいセンターの館長として勤務いたします池脇信一と申します。若輩ではありますが、ふれあいセンターを良いスポットにしていけるよう、精一杯頑張りたいと思います。何卒よろしくお願い致します。

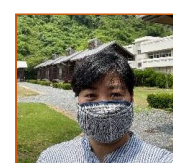
大津島ふれあいセンター 池脇 信一



この度、ふれあいセンターでアルバイト職員として働くことになりました、藤原永介と申します。この怪しい顔を見かけたら、駐在所に連絡、ではなく気軽に、えいちゃんとお声掛けください。これまで様々な職種を経験してきましたので、何かのお役に立てればと思います。

大津島ふれあいセンター 藤原 永介

お世話になりました



短い間でしたが、色々とお世話になり、ありがとうございました。巡航船での行き来や、通勤中の風景など大津島の豊かな季節の移り変わりを楽しむ事ができました。ふれあいセンターにおいては、皆様方の温かいお力添えがあったからと感謝しております。引き続き、ふれあいセンターをよろしくお願い致します。

大津島ふれあいセンター 鳥居 文子

⑥ 水無月とは



文川回天記念館
佐伯 孝洋

みなさん、こんにちは。そろそろ梅雨入りが近づいてきました、予想によると山口県は6月に入ると梅雨入りするのではということですが、どうなるでしょうか。(どうでしたでしょうか?)

ちなみに昨年は梅雨入りが5月12日頃、梅雨明けが7月13日頃でした。

梅雨は、じめじめとしてうつとうしくて嫌だという方が多いと思います。梅雨入りすれば、早く梅雨が明ければとは思うのですが、農家の方はお米作りには、一定の水が無ければ困ります。災害のない程度に適量降って早く明けてくれればと願っています。その後は暑い夏が来ますが・・・

ところで、6月は水無月とも言いますが、梅雨の時期で水が多いのになぜ「水の無い月」と書くのかなと以前から思ってたので、ググってみました。

ひとつは、水無月の「無(な)」が「の」にあたる連体助詞で、水が「無い」わけではなく「水の月」であることを意味するという説。これに対して、水が無いから「水無月」だとする説。田に水を引くため、それ以外の水が無いという説などです。曆は、生活に必要な農耕生活と関連して発生したことを考えるとなるほどーですね。

若潮の会通信 No.45

文川藤井 ゆかり

6月11日に予定されていたイノシシに荒らされた馬島のモニュメントへの道の整備に、「参加します!」と手を挙げたものあそこまで上がる自分の体力は大丈夫なのか?と不安に思っていたところ、雨が降りそうなので延期の連絡。少しほっとして代わりに行われた総会に参加しました。

コロナ禍で様々な行事が中止・縮小され総会も3年ぶりです。少人数ではありますが久しぶりに顔を合わせる方もいて、新しい活動案や島の行事の継承・島内散歩計画などについて話し合い、最後は小学校の名簿を見ながら懐かしい思い出話に花が咲いたのでした。

今回延期された作業でひとつ楽しみにしていたのが中学校の遠足以来約40年ぶりに行くモニュメントの近くの見張り台で当時と同じアングルの写真を撮ることだったので次回まで体力づくりをしながら備えることにしようかな!?



1979年 or 1980年

中学1年の頃

モニュメント 見張り台

お知らせ

【次回潮流発行予定日】
9月1日 第287号

善意銀行へのご寄付ありがとうございます

▼預託者 匿名 金1万円(大津島社協)

移動図書館 やまびこ号ジュニア
7月5日(火)、8月6日(土)
馬島11:30~ 刈尾12:20~

【7月~9月の主な島の行事予定】
7月3日(日) 十人墓供養祭(瀬戸浜地区)

【編集後記】

とうとう山口県も梅雨に入りました。昨年は、大雨が長く続き、一部冠水がひどかった記憶が残っています。適度には、降らないといけませんが強雨時は、ひやひやします。今後は、暑くなります。脱水症状にならないように、こまめに水分を取りましょう。
文責: 原田 和保

知っちょるかね

島の切れ端



文川松本 千恵子

暑くなってくると私の悩みの種、ムカデ、フナムシ。断りも無しに我が家に忍び込み、寝ている私の上を這い回り、時には噛みつき激痛に眠れぬ夜を送る事になる。色々な薬も試すがイマイチ効き目がなく、毎年熟睡出来ない夏を送る。まあ、きつと隙間だらけの我が家の造りに問題があるんですよ。なので一時期ネズミが走り回っていたが、この頃は見なくなって一安心。その代わり、暖かくなって出て来て困るのは蛇。今年が多いのかも知れんけど、もう三匹も見た。年によると一匹も見ない年もあったから、このペースは早い気がする。昔は沢山居たよね。畑に行く途中、一匹は必ず見ていたもの。農具小屋に入ったら、物凄い大きな青大将がいて、襲われるんじゃないかと怖かった。小屋の天井からは、脱皮した目玉や尻尾の跡も完全に残ったのがぶら下がっていたりした。余りにも大きいので、「財布に入れたらこれだけでいっぱいになって、お金が入れられん」と親達が発言していた。猪が食べるのか、蛇が少ないねと話していたけど、今年は、目撃が多いような気がするね。

蛇が好きな訳じゃ無いけど、やはりいるべきものがそこにいるのは安心する。草花もそうでね、季節ごとに島の其処此処に咲いていた花達。島の山が高齢化と猪とで荒れるに従い、姿を消した花の幾多。それだけに、畑の端や農道の際に咲いた花を見ると、健気さに嬉しくなるね。思わず「おまえ、生きちゃったか、頑張れよ」なんて声をかけるヘンなおバサンになる。島の山は一見すると緑豊かで自然がいっぱいみたいだけど、捻れた自然。それでもその時代に生きる私達はやっぱりその自然を愛してやりたいと思いが、島を見上げる。今はないけど、あそこには小学五年生の私が麦漕ぎの手伝いをしながら、麦わらで力ゴをあんでいたし、こっちの山には妹や弟を連れてスクドをこりに歩いている。そんな思い出の傍らに、ひっそりと確かに咲いていた草花たち。どこかで生き延びていつか会える時があればと祈る。

徳山湾見聞録

33

昔は多くの海水浴客で賑わっていた蛇島(りくま)

文川大津島巡航 三崎 英和

徳山港を出港した巡航船からは左手に位置する蛇島ですが、晴海の埋め立て地に建つ工場群に遮られ、今では見ることができません。また島内でも、刈尾以北の地区からは樺島や黒髪島の陰に隠れて見えませんが、天ヶ浦、馬島では、徳山市街地方向を眺めるとその手前に望める、左右対称の円盤状の島です。しかし市街地側からはどこからも、細長いヒョウタンのような形に見える不思議な島です。

不思議と言えば、どうして「蛇」の島なのか、疑問に思われませんか。実はその一人が私だったので、郷土史を調べてみると「昔、徳山の街に大雨が降り、その雨のため東川に流れ込んだ蛇がこの島にたどり着いたことから蛇島となった」との記載がありました。

この東川という川は、中心市街地の東側を流れている川で、遠石方向にできたショッピングセンターに行く時、一っだけ川を渡る



イラスト 三崎 英和